

<11月の諸事お祝い 出席・親睦活動委員会：寺川忠男委員>



♡ 結婚記念日 ♡

高橋 清会員	11月 1日
寺川忠男会員	11月 3日
三村藤明会員	11月 3日
高橋一彦会員	11月 6日
小林 弘会員	11月16日



😊 <ニコニコ委員会：寺川忠男委員>

- 齋藤和實：ロータリー農園のお礼をいただき有難うございました。今年は不作でしたが、来年の豊作を願って農園をガス消毒しました。その資金として利用致します。
- 小林 弘：結婚記念の花束誠にありがとうございました。二人共元気に過しております。
- 寺川忠男：本日は、結婚記念の花束を頂きありがとうございました。11月3日に金婚式を迎えました。これで一つの目標を達する事が出来ました。
- 吉田俊一：家内の誕生祝いありがとうございます。孫のお祝もあり地区大会も出席出来ませんでした、お詫びも兼ね。家族2人益々平均年齢があがります。
- 高橋 清：①結婚記念お祝いありがとうございました。来年は50年の区切りとなります。おじいさんになるのも当然です、今後ともよろしく。  
②地区大会に欠席致しました、お詫びいたします。
- 三村藤明：結婚記念のお祝い有難うございます。今年で25年になります。先輩方を目標としてこれからも頑張ります。
- 児山守治：地区大会出席の協力ありがとうございました。諸事お祝いの皆様おめでとうございます。  
ここで一句 **☆夕立の 街行く人に 紅葉かな**
- 平田洋一：誕生日のお祝いありがとうございます。51才になりました。最近肉の食べる量が減りました。コーヒーよりお茶が美味しく感じます、加齢でしょうか？
- 高橋一彦：結婚祝いありがとうございます。20年目に入っております。何とか無事にこの後も進んで行ければと思っています。ちなみに両親は50年目だそうです！！
- 大川隆永：妻の誕生日プレゼントを頂きありがとうございます。
- 瀧上啓太：女房の誕生祝いありがとうございます。夫婦愛和（あいわ）をコツコツ続けて参ります。

国際ロータリー第2790地区第12分区  
**松戸北ロータリークラブ**



四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
- 1・真実かどうか
  - 2・みんなに公平か
  - 3・好意と友情を深めるか
  - 4・みんなのためになるかどうか

**第1989回 例会 2013年11月12日(火)**

- |                 |           |  |
|-----------------|-----------|--|
| ■ 国際ロータリー会長     | ロンD. パートン | ■ 例会日 - 毎週火曜日12:30より (第1例会18:30)                   |
| ■ 第2790地区ガバナー   | 関口 徳雄     | ■ 例会場 - 松戸市八ヶ崎1-10-6 「びわ亭」                         |
| ■ 第12分区ガバナー補佐   | 渡辺 敏弘     | ■ 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101                  |
| ■ 松戸北ロータリークラブ会  | 児山 守治     | ■ TEL/FAX - 047-711-5950 / 047-711-5910            |
| ■ 松戸北ロータリークラブ幹事 | 平田 洋一     | ■ Web/Mail - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |



# WEEKLY REPORT

## <第1989回：例会プログラム>

11:30	第5回 理事会	
12:30	点鐘	児山守治会長
	国歌並びにロータリーソング斉唱	
	【♪君が代 ♪奉仕の理想】	
12:33	お客様紹介	崎谷延好会長エレクト
12:35~	会食 12:55~例会再開	
	会長挨拶・理事会報告	児山守治会長
13:05	幹事挨拶・報告	平田洋一幹事
13:10	【委員会報告】	
	出席親睦委員会 諸事御祝	
	(御祝対象者 11名)	野村充委員長
	ロータリー財団委員会	並木幸雄委員長
	社会奉仕委員会 社会奉仕基金発表	高崎卓哉委員長
	ニコニコ委員会 本日のニコニコ発表	小林弘委員長
19:30	点鐘	児山守治会長

## <会長挨拶：児山守治会長>

皆さん こんにちは。

11月5日はガバナー公式訪問11月10日は地区大会とご協力いただきましてまことにありがとうございました。

さて 今年度の当クラブのスローガンは

- ①ロータリアン個々の資質の向上
- ②ロータリーの知識の吸収
- ③仲間同士の仕事のつながりを多く持つこと
- ④親睦を深めること
- ⑤お互いを尊重し尊敬し合える仲間づくり
- ⑥外部、内部からの卓話の充実 卓話からの知識の向上等

に向けてクラブ運営を行っております。皆さんからの委員会に対するご指導ご協力真にありがとうございます。



今月はロータリーの歴史を学ぶ月間として日本のロータリークラブの始祖 米山梅吉について学んでみたいと思います。

米山梅吉は明治元年(1868年)に和田家の三男として生まれました。明治元年という年はその前年の慶応3年に大政が奉還され明治元年3月には五箇条のご誓文が発せられ4月には勝海舟と西郷隆盛の会見によって江戸城が明け渡され7月には江戸が東京と改められるなど激動の年でありました。もちろん梅吉は生まれたばかりなので そんな世の中のことには直接知らないのですが、そのような日本の新しい船出とも言うべき明治元年に梅吉が生まれたということは なんとなく梅吉の生涯の輝かしさを暗示しているかのように思われます。

梅吉の身に突然の不幸が襲います。明治5年梅吉5歳のとき父の竹造が突然病気によって死去したのであります。竹造43歳でした。竹造は藩主に従って京都守護のため京都に上がっていたが明治4年の廃藩置県によって江戸に戻ると翌年死亡したのである。梅吉は幼少の頃 わずかの間しか父と一緒に暮らすことが出来なかったわけでありました。廃藩置県によって藩主はその地位を追われ、和田家では父も失って梅吉達はこれ以上江戸に住むことが出来なくなりました。

幸い母が静岡県三島市の三島神社の宮司の娘であったので一家は三島市の実家に身を寄せることに



### ■ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」Service above self■

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。

# WEEKLY REPORT

なり、三島に移りました。三島に住んで3年経った明治8年梅吉は8歳になり小学校に行くことになりました。

明治新政府は明治5年に教務省(後の文部省)を設けて最初の学制を公布し小学校を明治5年から始めました。当時の知識階級といえば漢学者 国学者 画家 武士僧侶 神官などに限られていました。

小学校に通っていた時に梅吉のところに一生の運命を左右する重大な話が舞い込んできました。明治12年5年生になった梅吉のところへ旧家である米山家から「梅吉を養子に欲しい」という話が出てきたのでした。梅吉は教養のある両親からの素質を受けて 知識意欲も旺盛で 学校の成績も抜群で いわゆる神童の誉れ高かった子供だったのでそこへ目をつけられたのでした。

米山家是由緒ある旧家で邸宅の跡に残っている碑文(昭和16年建立)には次のように書かれています。米山家の祖先はその昔 名主を務めていた。そのため門を東の小田原の方角に向って建てたので米山家を通称「東」と呼ぶようになりました。十三代 藤三郎の時に梅吉が和田家より養子に入って家を継いだのです。一人娘の春子と夫婦にして米山家を継がせようとしたのである。こうして13歳の梅吉は三島の和田家から長泉村の米山家に移ったのであります。米山家は農家であるが地主であるから家族の者が田畑に出て働くことはなく 田畑で働くのは 使用人か小作人であった。だから梅吉も大家の坊ちゃんとして 学校の勉強に専念しました。梅吉の兄が教師をしていたという関係もあり 梅吉は校長に特に目をかけられ 特別に漢字を教わり授業の手伝いなどもしました。米山梅吉は14歳で小学校を卒業すると 引き続いて地元の沼津中学校に進学しました。当時の学制は 小学校は 下等4年 上等4年の計8年が就学期間とされていましたが 梅吉はそれを6年で卒業したことになります。中学校は私学でしたが この中学校を16歳の年末に中途退学して上京この頃の教科目は 英 数 漢語 が主要科目でありました。この続きは後日いたします。これにて 挨拶いたします。

## <幹事報告：平田洋一幹事>



崎谷延好会員が事務所に立派な箱を作らせて下さいました。ありがとうございます。

## <委員会報告：ロータリー財団委員会：並木幸雄委員長>

ロータリー財団年次寄付金1万円を次回より徴収致しますので、よろしくお願い致します。

## <11月の諸事お祝い 出席・親睦活動委員会：寺川忠男委員>



	会員誕生日	高崎卓哉会員 11月13日
		平田洋一会員 11月22日
	夫人誕生日	
		瀨上啓太会員(文江様) 11月 3日
		大川隆永会員(江美様) 11月 8日
		吉田俊一会員(穂子様) 11月28日

